Kumamoto City
News Release

令和 8 年(2026 年) 10 月 15 日

市民のみなさまへの注意喚起
～日本紅斑熱患者の発生について～

熊本市内において、日本紅斑熱患者の発生を確認しましたのでお知らせします。
令和 8 年（2026 年）10 月 14 日に、熊本市内の医療機関から熊本市保健所に対して「日本紅斑熱発生届」が提出されました。熊本市在住の患者としては、令和 8 年（2026 年）においては初めての事例となります。

1　患者に係る情報
50 歳代、男性、熊本市在住

2　経過
9 月から 10 月にかけて県外で登山を 2 回実施。
10 月 8 日に発熱（40℃）及び悪寒が出現し、その後、頭痛や発疹等の症状がみられたため医療機関を受診・入院しました。
10 月 14 日、熊本市環境総合センターで実施した PCR 検査により日本紅斑熱陽性と判明し、同日、医療機関から熊本市保健所へ発生届が提出されました。

3　日本紅斑熱発生届出状況

区分	届出数
全国	466 件
熊本県 （熊本市含む）	11 件
熊本市	3 件

令和 8 年（2026 年）第 1～40 週
（令和 7 年 12 月 29 日～令和 8 年 10 月 4 日）時点

※発生届は医療機関が所在する管轄の保健所に提出されます。
※今回の患者は、熊本市在住者として令和 8 年第 1 例目です。

（裏面あり）

４　日本紅斑熱について

日本紅斑熱は、病原体（リケッチア）を保有するマダニに咬まれることで感染します。潜伏期間は 2～8 日、発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、倦怠感、頭痛を伴います。マダニは、衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなどの家庭内に生息するダニと異なり、主に森林や草地に生息、全国的に分布しています。

５　ダニ媒介性疾患の予防対策

・今回確認された日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニによって媒介される感染症です。

・感染予防対策としては、ダニに咬まれないようにすることが重要であり、以下の点に注意して下さい。

① 森林や草地などマダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用し、肌の露出を少なくすること。虫よけ剤も有効です。

② 野外活動後はマダニに咬まれていないか確認しましょう。

③ マダニに咬まれた後に発熱や発疹等の症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診し、野外活動歴を医師に伝えてください

④ 犬や猫などの動物にもマダニが付いていることがあるので注意してください。

【問い合わせ先】
健康危機管理課
電話：096-364-3311
課長：坂本　まゆ（さかもと　まゆ）